

挑みつづける、変わらぬ意志で。



# 2024年度 新入社員意識調査 集計結果

2024年4月22日  
東京商工会議所  
人材・能力開発部

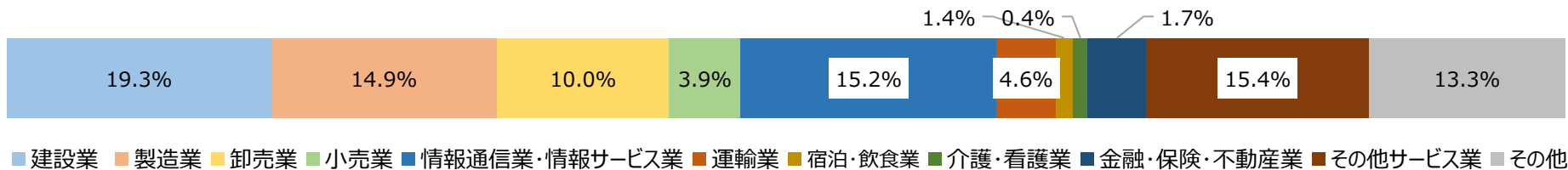
# 調査概要

- (1)目的：2024年度の新入社員を対象に、社会人生活や仕事に対する意識等を調査し把握することで、会員及び当所の事業運営の参考とするため。
- (2)調査期間：2024年4月2日～4月5日
- (3)調査方法：Webアンケートシステムを利用
- (4)調査対象：当所(事務局:人材・能力開発部 研修センター)が実施した新入社員研修の受講者1,021人
- (5)回答数：957人(回答率：93.7%)
- (6)その他：・本調査結果では小数点第2位で四捨五入しているため、単一回答の質問では合計が100にならない場合がある。  
 ・⑪ページ、⑬ページに記載の「企業向け調査」とは、当所が実施した「企業の人材育成担当者による新入社員・若手社員に対する意識調査」(2024年4月22日公表)である。

## ■回答者の属性 n=957

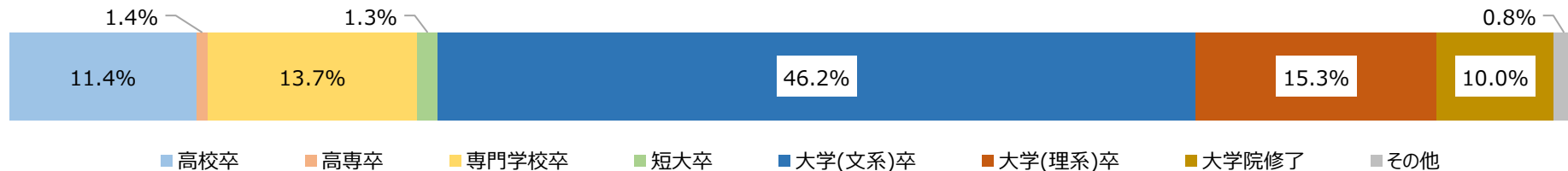
### (1) 所属企業の業種

建設業：185人(19.3%)	製造業：143人(14.9%)	卸売業：96人(10.0%)	小売業：37人(3.9%)
情報通信業・情報サービス業：145人(15.2%)	運輸業：44人(4.6%)	宿泊・飲食業：13人(1.4%)	介護・看護業：4人(0.4%)
金融・保険・不動産業：16人(1.7%)	その他サービス業：147人(15.4%)	その他：127人(13.3%)	



### (2) 学歴

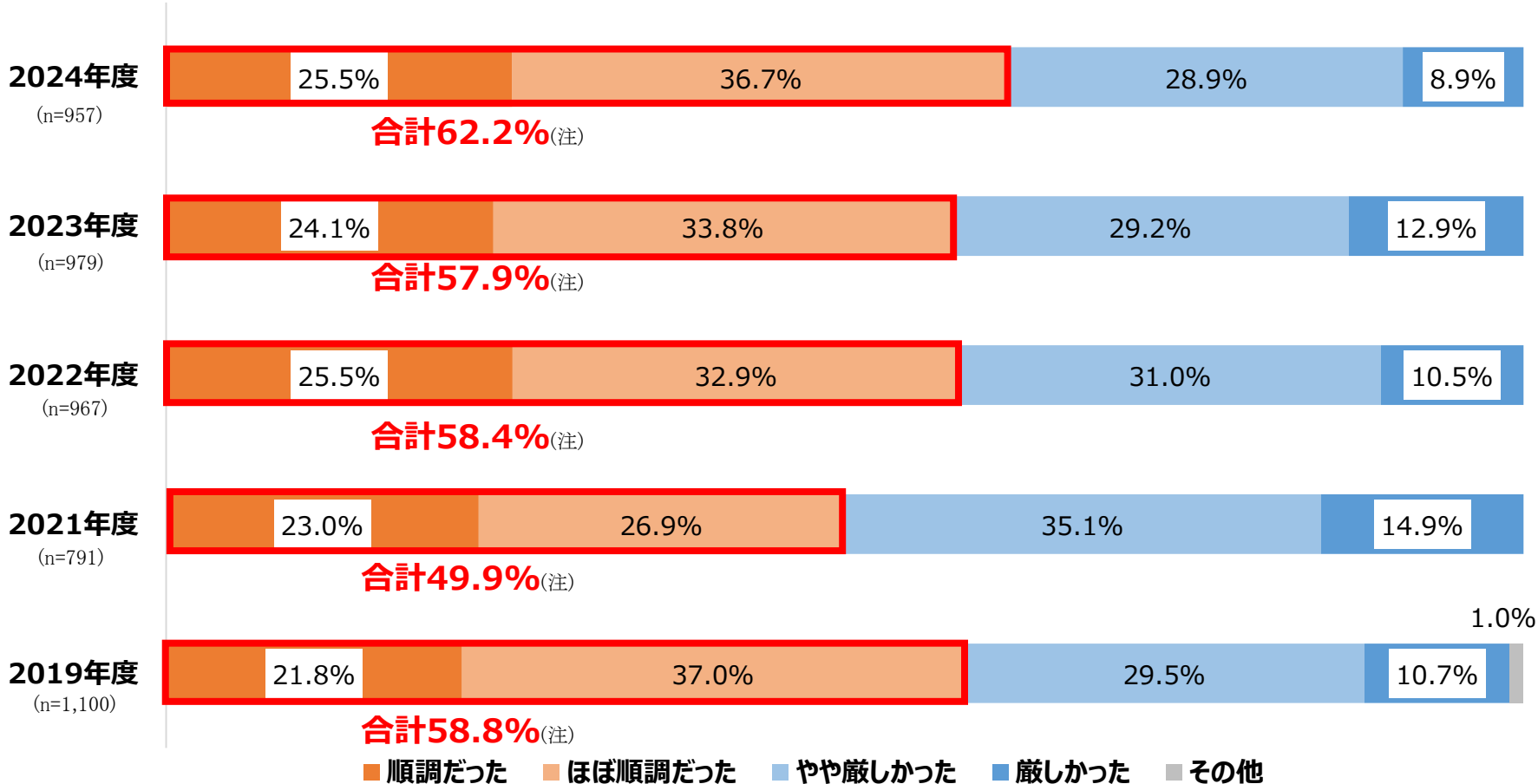
高校卒：109人(11.4%)	高専卒：13人(1.4%)	専門学校卒：131人(13.7%)	短大卒：12人(1.3%)
大学(文系)卒：442人(46.2%)	大学(理系)卒：146人(15.3%)	大学院修了：96人(10.0%)	その他：8人(0.8%)



# 就職活動が順調だったかどうか:全回答者

○「順調だった」、「ほぼ順調だった」との回答は合計で62.2%となり、就職活動の「順調さ」はコロナ禍前の2019年度調査の数値を上回り、コロナ禍以降(2021年度~2024年度調査)でも最も高い数値となった。

## ■全回答者【単一回答】



※2020年度は本調査を実施していない。

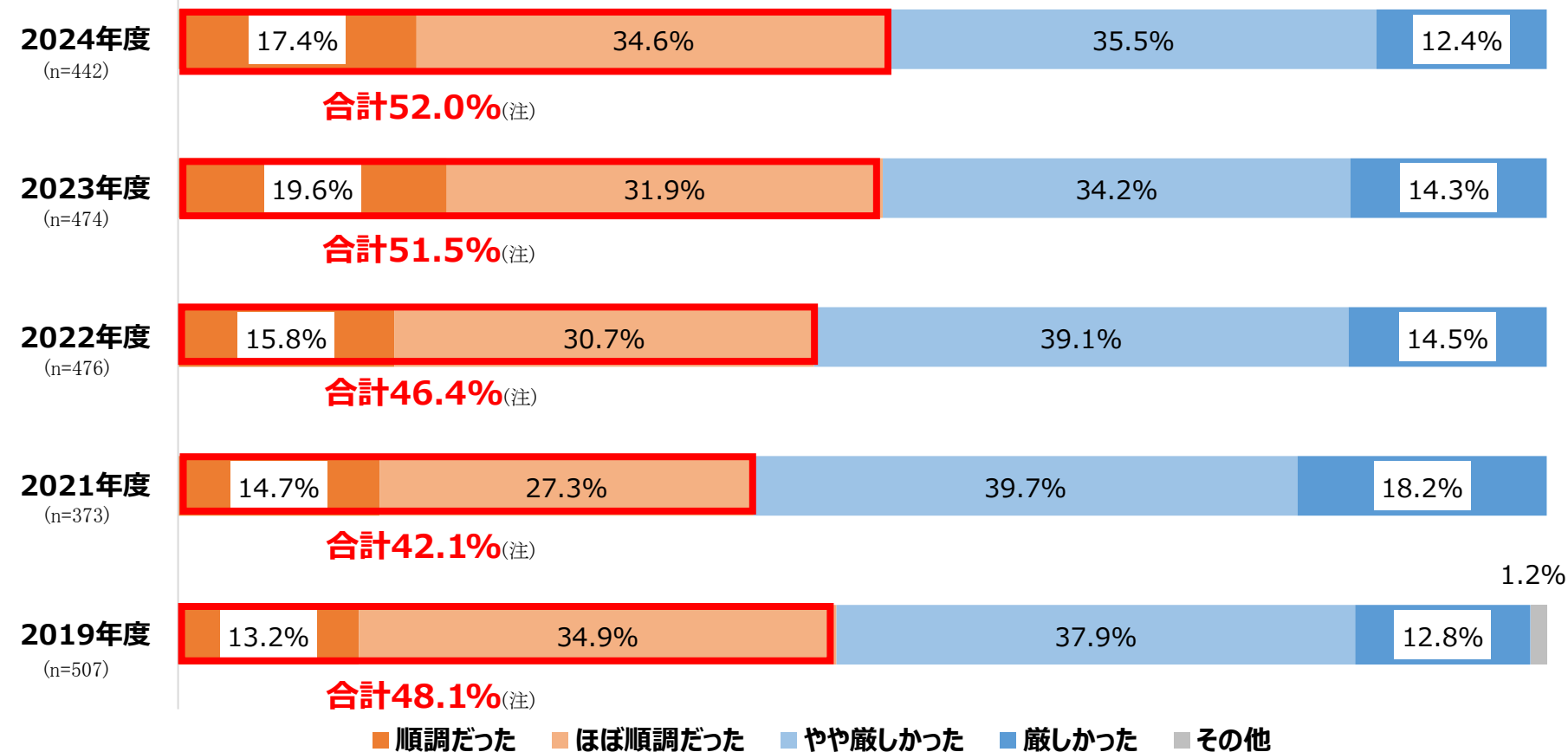
※2021年度、2022年度、2023年度、2024年度の調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。

注:「順調だった」、「ほぼ順調だった」を選択した者の合計数が総回答者数に占める割合。

# 就職活動が順調だったかどうか:大学(文系)卒

○「順調だった」、「ほぼ順調だった」との回答は合計で52.0%となり、就職活動の「順調さ」はコロナ禍前の2019年度調査の数値を上回り、コロナ禍以降(2021年度~2024年度調査)でも最も高い数値となった。

## ■大学(文系)卒【単一回答】



※2020年度は本調査を実施していない。

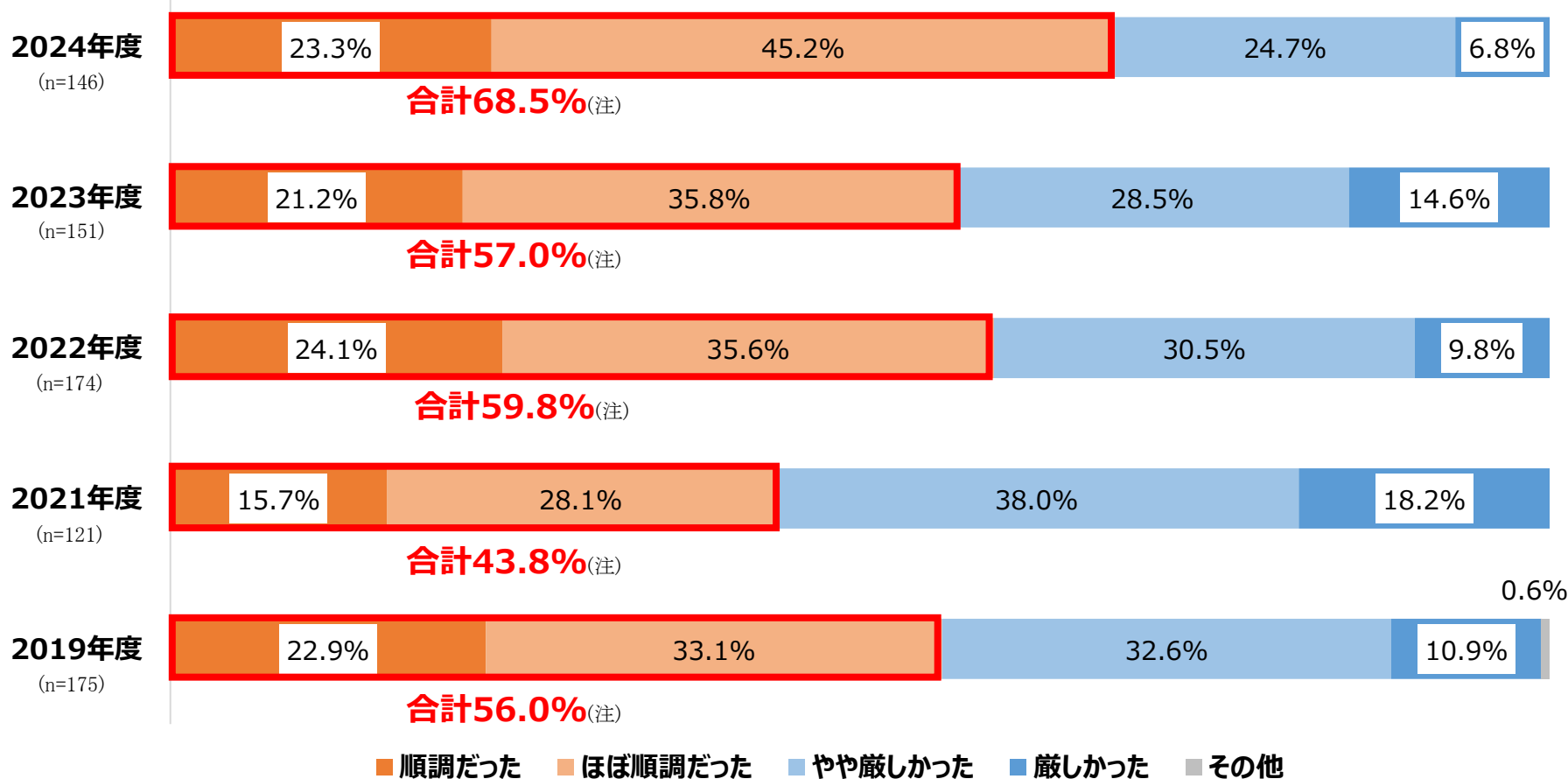
※2021年度、2022年度、2023年度、2024年度の調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。

注:「順調だった」、「ほぼ順調だった」を選択した者の合計数が総回答者数に占める割合。

# 就職活動が順調だったかどうか:大学(理系)卒

○「順調だった」、「ほぼ順調だった」との回答は合計で68.5%となり、就職活動の「順調さ」はコロナ禍前の2019年度調査の数値を上回り、コロナ禍以降(2021年度~2024年度調査)でも最も高い数値となった。

## ■大学(理系)卒【単一回答】



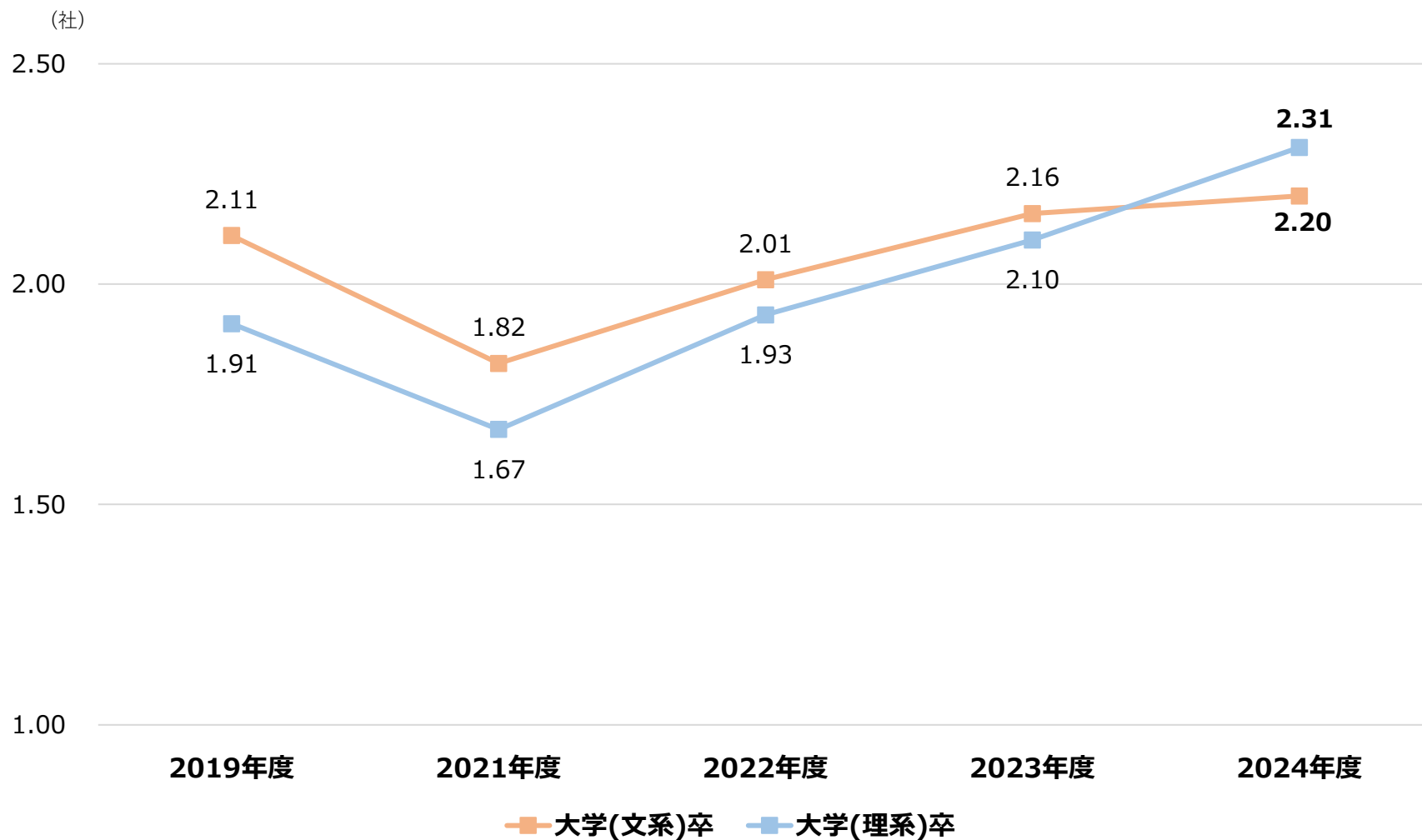
※2020年度は本調査を実施していない。

※2021年度、2022年度、2023年度、2024年度の調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。

注:「順調だった」、「ほぼ順調だった」を選択した者の合計数が総回答者数に占める割合。

# 内定取得企業数の平均値： 大学(文系)卒、大学(理系)卒

○内定取得企業数(大学卒)の平均値は、大学(文系)卒が2.20社、大学(理系)卒が2.31社であり、いずれも2023年度調査よりも更に増加した。

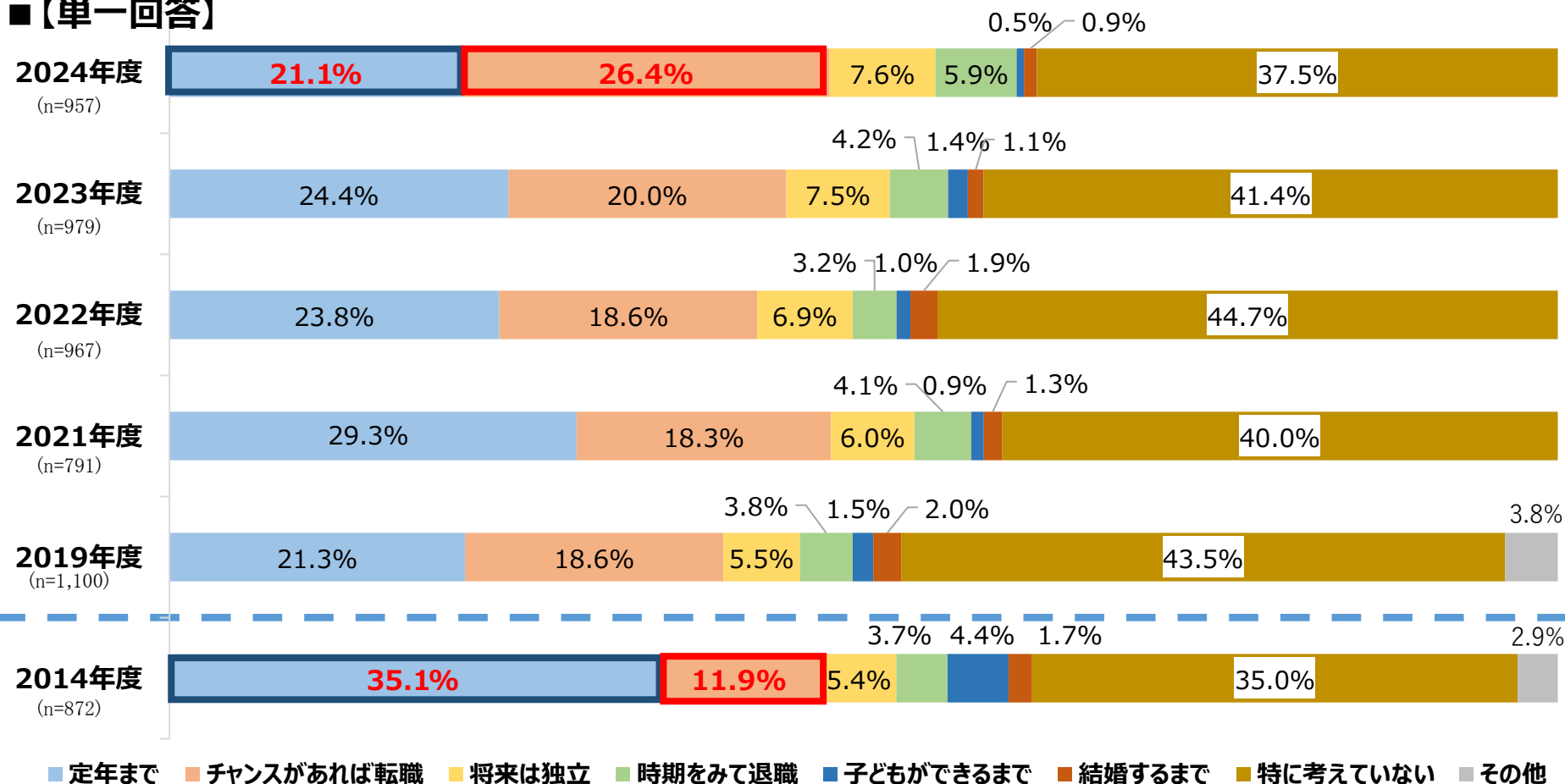


※2020年度は本調査を実施していない。

# 就職先の会社でいつまで働きたいか

- 「定年まで」が21.1%となり、10年前の2014年度調査(35.1%)と比べて14.0ポイント減少した。
- また、「チャンスがあれば転職」は26.4%となり、10年前の2014年度調査(11.9%)と比べて14.5ポイント増加したことから、新入社員は「長期勤続志向」が低下し「転職志向」が高まる傾向にあることがうかがえる。

## ■【単一回答】

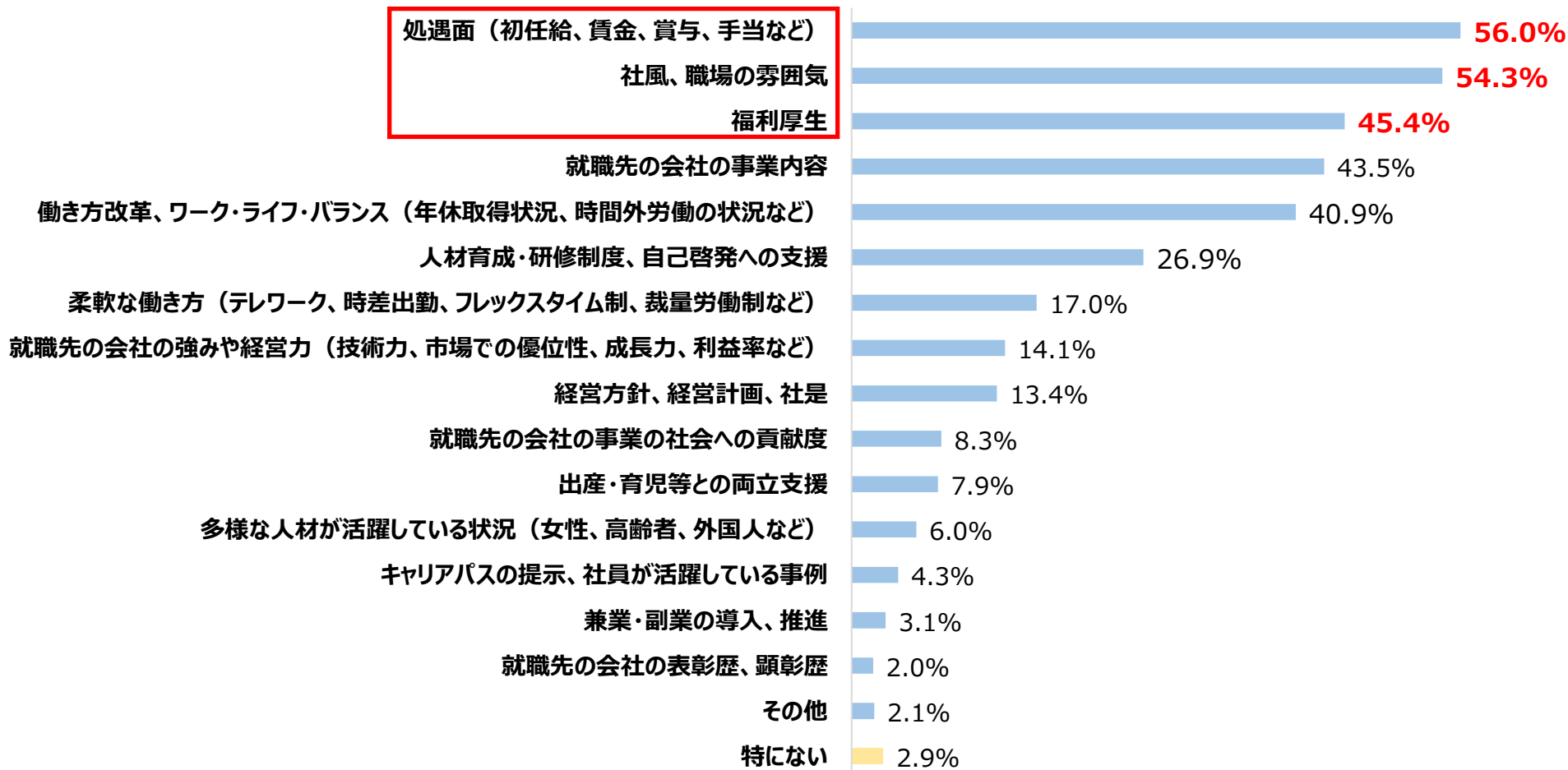


※2020年度は本調査を実施していない。  
 ※2021年度、2022年度、2023年度、2024年度の調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。※2019年度以前の調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

# 就職先の会社を決める際に重視したこと

○「処遇面」、「社風、職場の雰囲気」、「福利厚生」が上位となった。

## ■【複数回答】 n=957

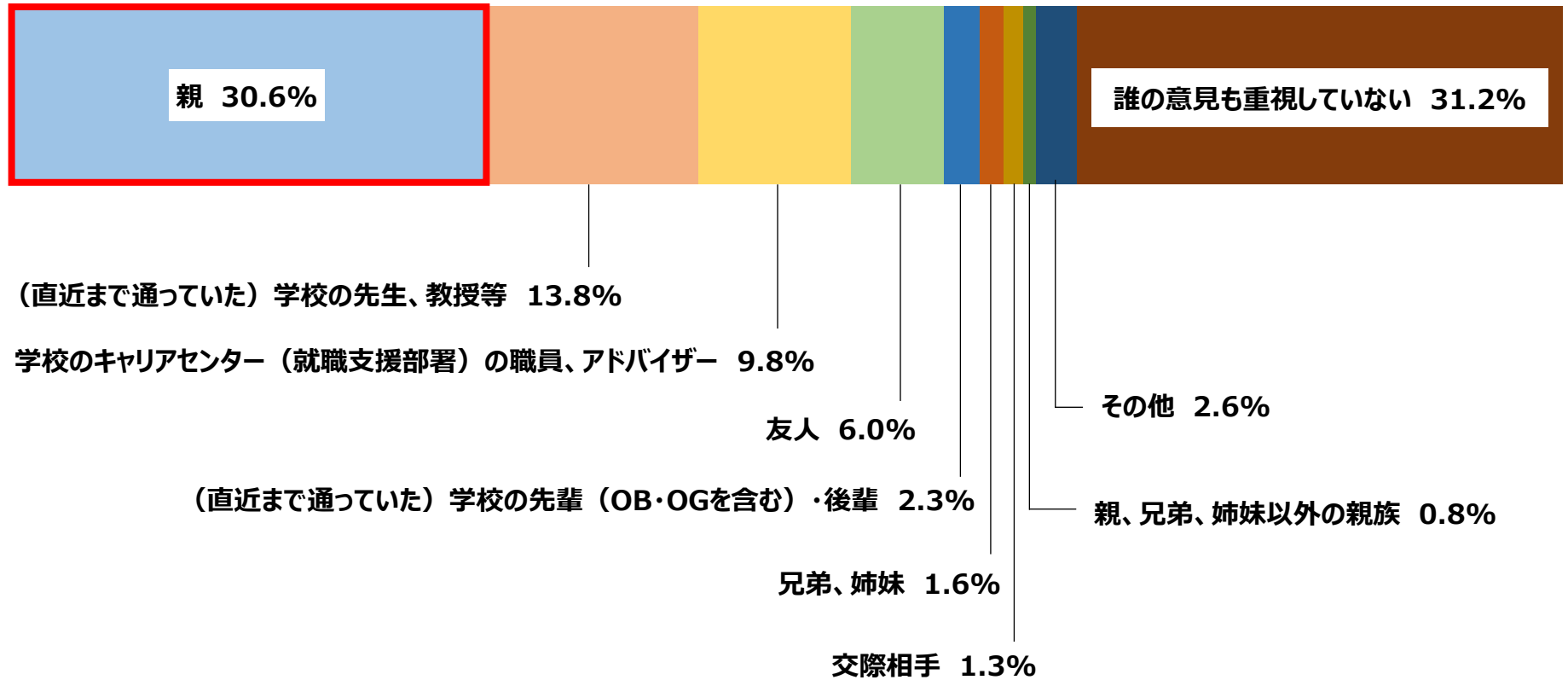




# 就職先の会社を決める際に、誰の意見を最も重視したのか

○「誰の意見も重視していない」が最多で、その次に「親」が多かった。

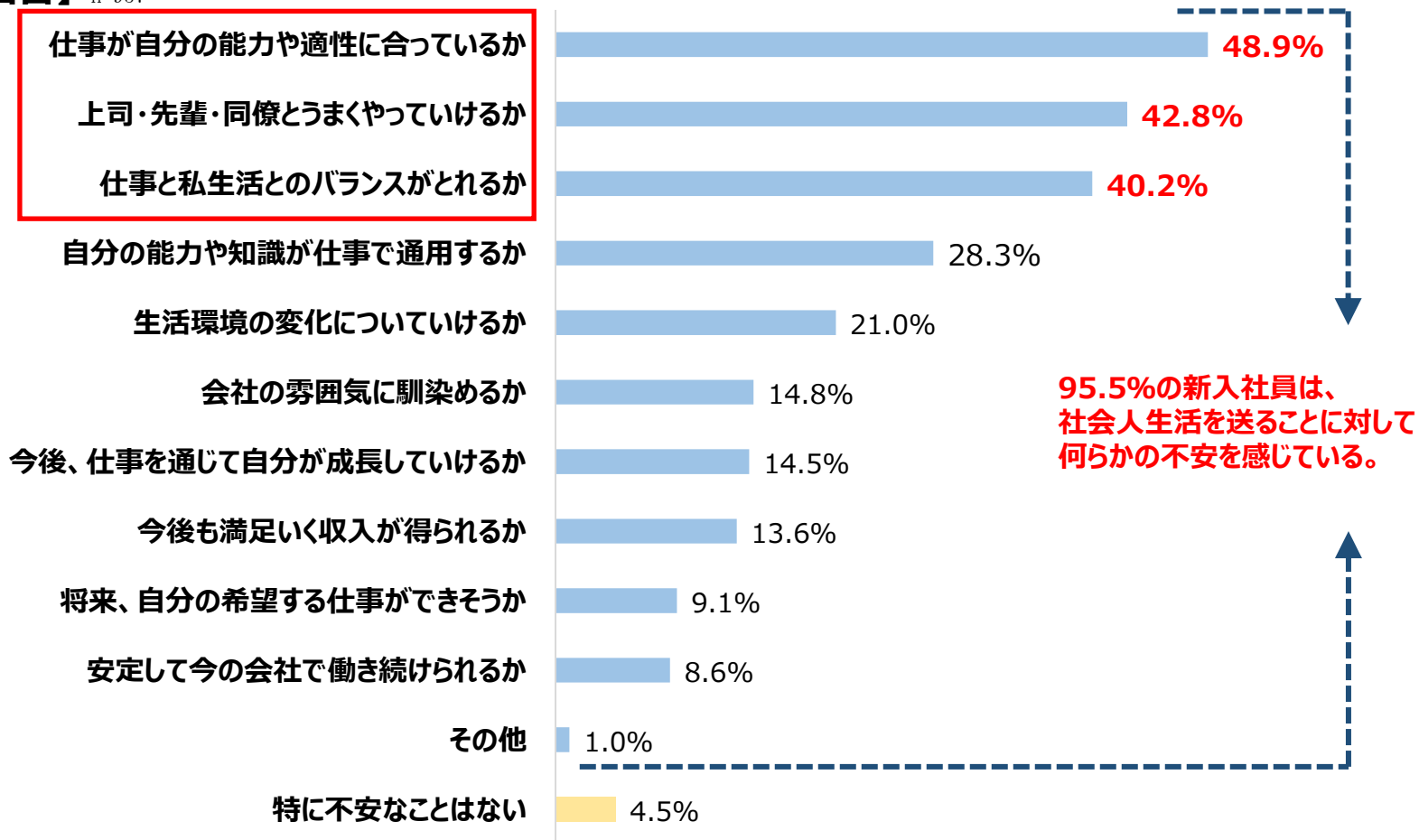
■【単一回答】 n=957



# 社会人生活で不安に感じること

- 「仕事が自分の能力や適性に合っているか」、「上司・先輩・同僚とうまくやっていけるか」、「仕事と私生活とのバランスがとれるか」が上位となった。
- 95.5%の新入社員は、社会人生活を送ることに対して何らかの不安を感じている。

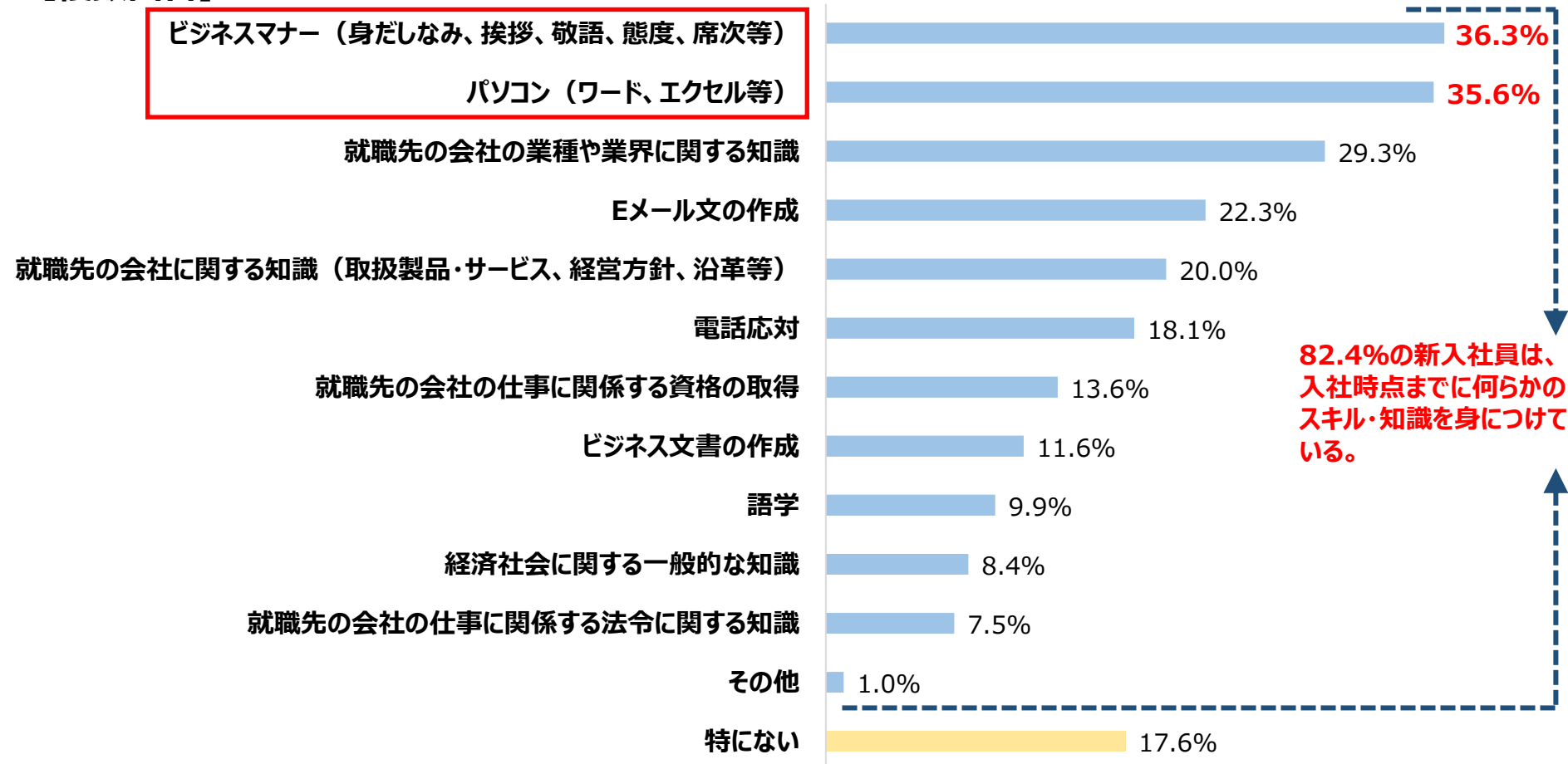
## ■【最大3つまで回答】 n=957



# 入社時点までに身につけたスキル・知識

- 「ビジネスマナー」、「パソコン」が上位となった。
- 82.4%の新入社員は、入社時点までに何らかのスキル・知識を身につけている。

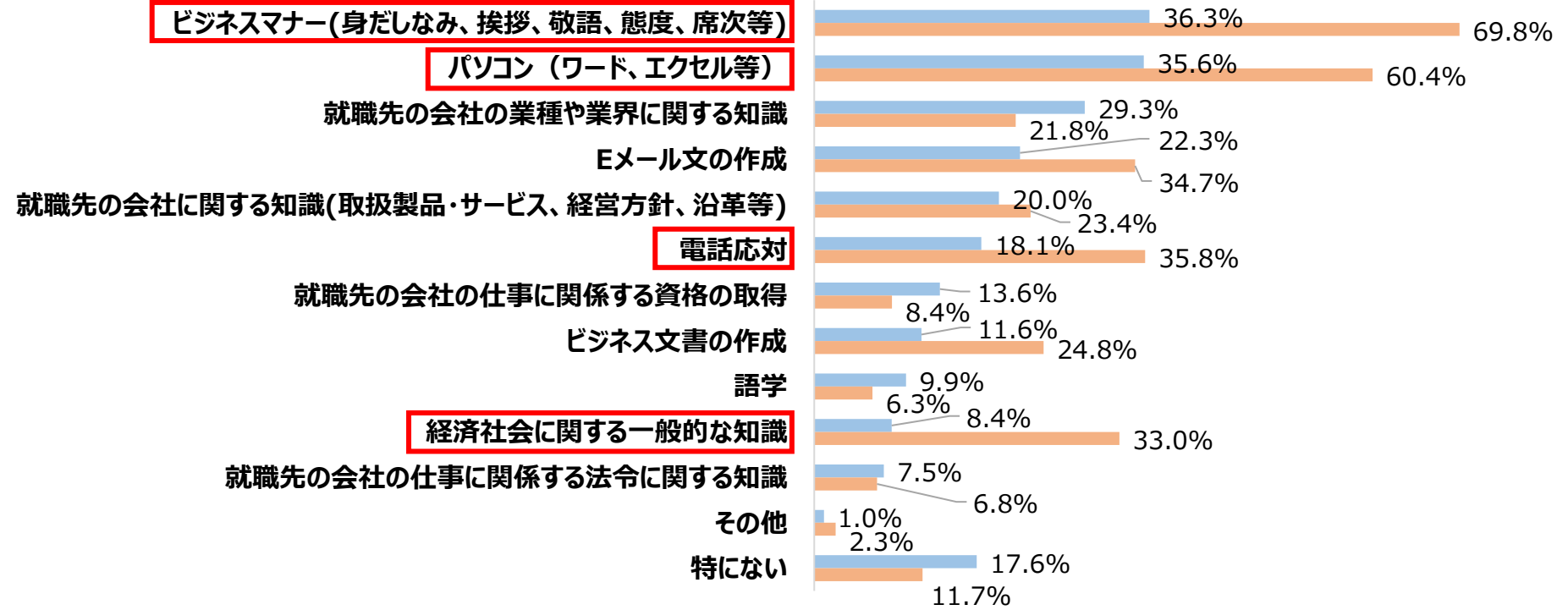
## ■【複数回答】 n=957



# 入社時点までに身につけたスキル・知識

- 企業向けに実施した調査で「新入社員が入社時点までに身につけて欲しいスキル・知識」を尋ねた結果と、本調査で新入社員に対して「入社時点までに身につけたスキル・知識」を尋ねた結果を比較すると、「**ビジネスマナー**」、「**パソコン**」、「**電話応対**」、「**経済社会に関する一般的な知識**」を挙げた企業の割合が、これらを挙げた新入社員の割合をそれぞれ大きく上回る。
- 企業がこうしたギャップを埋めるためには、入社前研修や新入社員研修等においてこれらの内容を取り扱い、新入社員のスキルや知識の習得を促進することが考えられる。

## ■【複数回答】



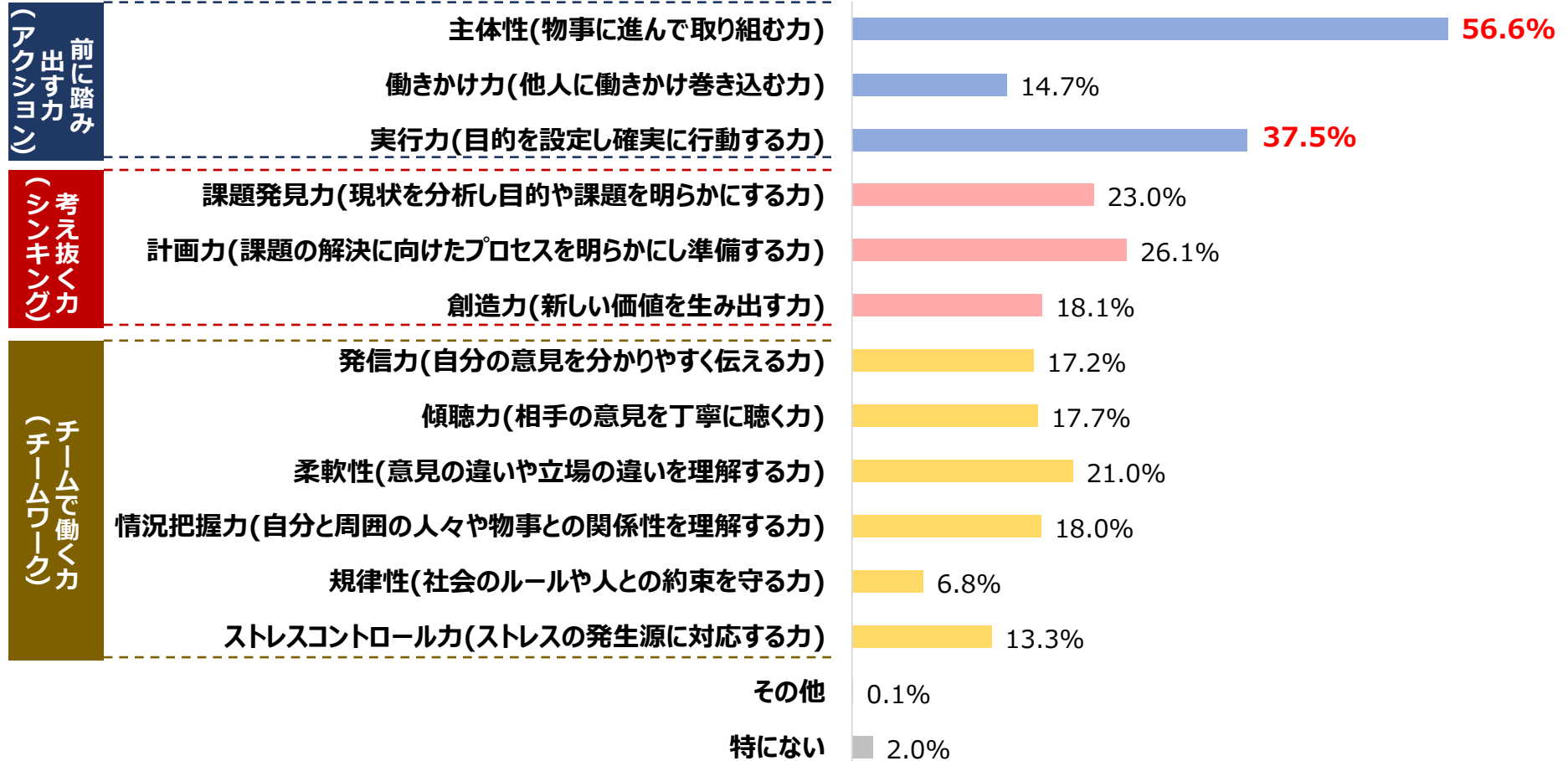
■【回答者:新入社員】入社時点までに身につけたスキル・知識 n=957  
 ■【回答者:企業】新入社員が入社時点までに身につけて欲しいスキル・知識 n=427

# 「社会人基礎力」を構成する能力要素のうち、 仕事をする上で特に大事にしたいこと

挑みつづける、変わらぬ意志で。

○経済産業省が提唱している「社会人基礎力」を構成する能力要素(3つの能力、12の能力要素)のうち、仕事をする上で特に大事にしたいことを尋ねたところ、「主体性」、「実行力」を挙げる新入社員が多い。

## ■【最大3つまで回答】 n=957

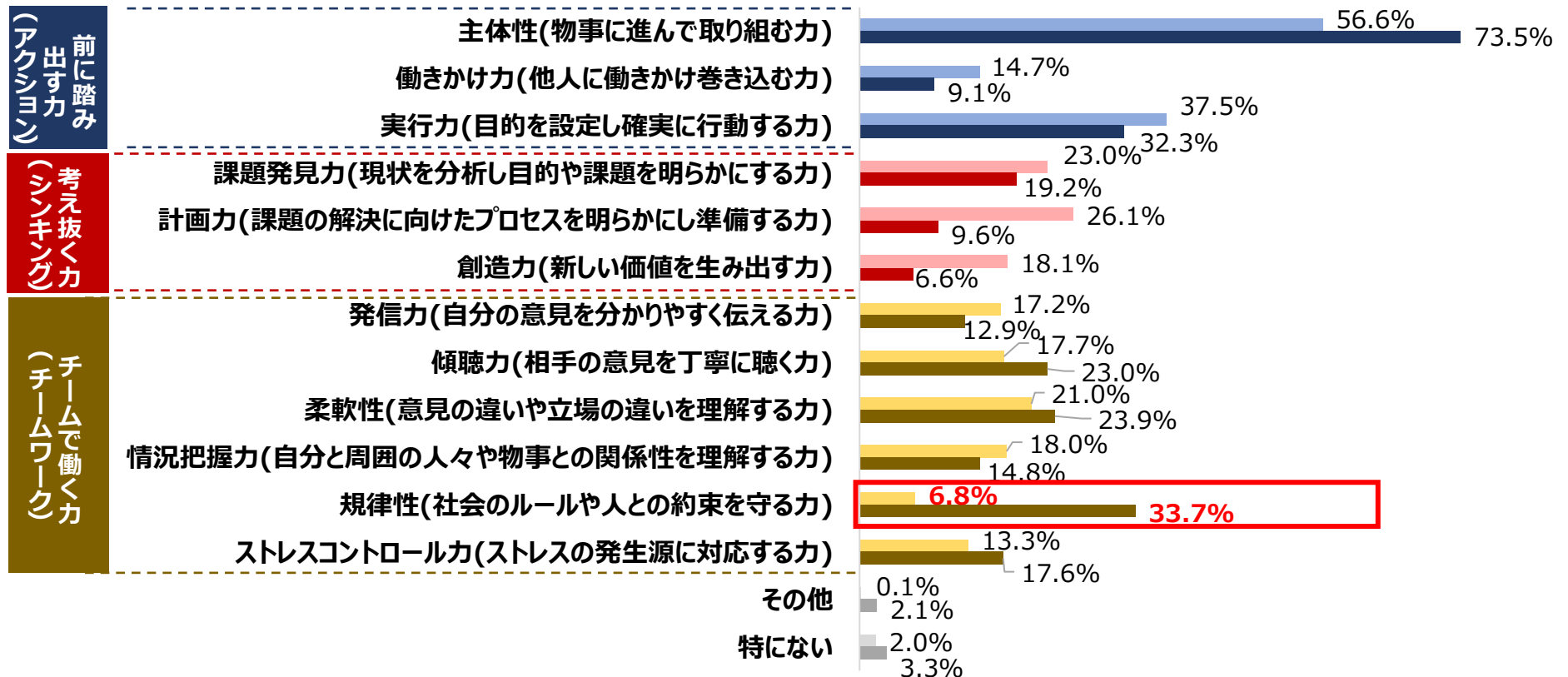


# 「社会人基礎力」を構成する能力要素のうち、 仕事をする上で特に大事にしたいこと

- 企業向けに実施した調査で「新入社員が仕事をする上で特に大事にして欲しいこと」を尋ねた結果と、本調査で新入社員に対して「仕事をする上で特に大事にしたいこと」を尋ねた結果を比較すると、「規律性」を挙げた企業の割合が、「規律性」を挙げた新入社員の割合を大きく上回る。
- 企業がこうしたギャップを埋めるためには、入社前研修や新入社員研修等において「規律性」に関する内容を取り扱い、新入社員に「規律性」の重要性に関する理解を促進することが考えられる。

## ■【最大3つまで回答】

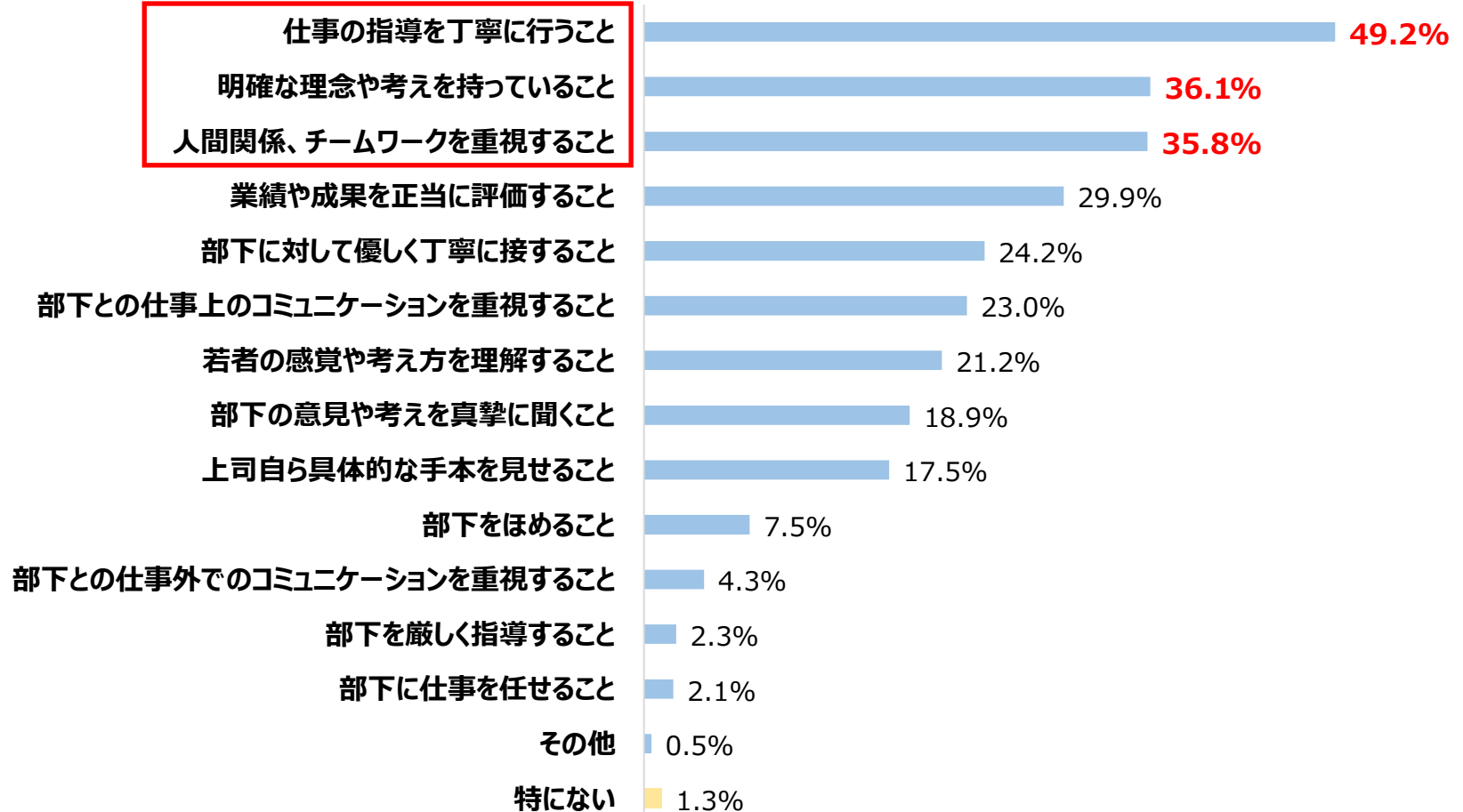
各選択肢の上段【回答者:新入社員】仕事をする上で特に大事にしたいこと n=957  
各選択肢の下段【回答者:企業】新入社員が仕事をする上で特に大事にして欲しいこと n=427



# 「理想だと思う上司」はどのようなことを大事にしたり重視する人か

○「仕事の指導を丁寧に行うこと」、「明確な理念や考えを持っていること」、「人間関係、チームワークを重視すること」が上位となった。

## ■【最大3つまで回答】 n=957



# 「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人

○「『理想だと思う上司』はどのようなことを大事にしたり重視する人か(⑭ページ参照)」を踏まえ、「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人を(1)芸能界・文化人、(2)スポーツ界、(3)歴史上の人物からそれぞれ1名尋ねたところ、(1)芸能界・文化人の1位は水ト麻美さん、(2)スポーツ界の1位は大谷翔平さん、(3)歴史上の人物の1位は織田信長となった。

## (1) 芸能界・文化人【敬称略、上位7名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	水ト麻美	42
2位	明石家さんま	31
3位	内村光良	29
4位	天海祐希	25
5位	志村けん	21
6位	藤井貴彦	20
6位	松本人志	20

## (2) スポーツ界【敬称略、上位7名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	大谷翔平	306
2位	イチロー	86
3位	松岡修造	35
4位	本田圭佑	32
5位	ダルビッシュ有	17
6位	栗山英樹	16
6位	長友佑都	16

## (3) 歴史上の人物【敬称略、上位7名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	織田信長	113
2位	徳川家康	86
3位	渋沢栄一	82
4位	坂本龍馬	73
5位	豊臣秀吉	43
6位	福沢諭吉	41
7位	聖徳太子	25

※芸能界:歌手、俳優、タレント等 ※文化人:アナウンサー、キャスター、コメンテーター等

※(1)~(3)ともにn=957

※上記の集計結果は有名人・著名人の名前の記載があった回答を集計したものである。



挑みつづける、変わらぬ意志で。

